

# 高城公民館だより 8月

第328号 2015年(平成27年)8月 高城公民館発行

【所在地】〒682-0642 鳥取県倉吉市上福田480

【開館】平日9:00~17:00(休日・祝日・盆・年末年始を除く) 【TEL】28-0950

【FAX】28-6033 【E-mail】kotakasi@ncn-k.net 【HP】http://www.ncn-k.net/kotakasi/

★6月末現在 高城地区世帯数…763(+2) 高城地区人口…男1037人(-1)・女1099人(-1)・計2136人(-2)



## 8月予定

日	曜日	内容(時間・場所)
1	土	打吹まつり①
2	日	打吹まつり② 剪定・除草8:00~
6	木	夏休み平和学習10:00~13:00
7	金	ふれあい給食(業者弁当)
10	月	夏休み子ども料理教室①10:00~13:00
11	火	民児協定例会19:00~
12	水	事務室閉室(職員不在)
13	木	※貸館はできません。
14	金	事前にお問い合わせ下さい。
18	火	夏休み子ども料理教室②10:00~13:00
21	金	ふれあい給食(業者弁当)

### 打吹まつりみつほし踊り大会に参加してきます!

高城チームでみつほし踊りに参加してきます!今年も60名弱集まり、大盛況です。今年は女装もします!参加・応援よろしくお祈いします。  
日時…8月1日(土)19:20~21:00  
※高城は昨年度と同様銀座商店街休憩所前(こばやし薬局さん前)からスタートします。応援よろしくお祈いします!

### 高城駅伝部発足!

高城発!駅伝チーム「CRUB たかしろ」が、誕生しました。7月号でメンバーの募集を開始。現在、男女合わせて25名の有志メンバーが集まりました。これから力を合わせ各地の駅伝大会に出場します。まずは、11月3日(文化の日)三朝町駅伝大会にオープン参加で出場します。「楽しく走れたら最高!!」を目標に、この大会を大いに楽しみます。みなさまの応援をお待ちしています。※一緒に走りたいと思われる方は、お問い合わせください。  
問い合わせ先: 高城公民館 田中まで(TEL 28-0950)

### 倉吉博物館講座③ 「昭和20年の総動員 ~ち号演習と高城飛行場~」

日時 8月23日(日)13:30~15:00 場所 高城公民館  
内容 戦後70周年を迎えるにあたり、博物館講座では昭和20年に実施された「ち号演習」を取り上げます。昭和20年6月、延べ12万人もの人々を動員し、上福田~横田間に1,800mの秘匿飛行場「高城飛行場」の建設工事が進められました。県史編さん事業の調査で明らかとなった各地の「ち号演習」の事例や米軍の空爆の資料等を紹介しながら、高城飛行場が造られるに至った歴史的背景についても解説します。  
対象 地区の方々にお集まりいただき、できる限り当時の聞き取りを実施したいと思います。  
定員 なし 申込 不要です。当日直接お越し下さい。持ち物 なし 参加費 無料  
講師 鳥取県立公文書館 県史編さん室 西村芳将さん 主催 倉吉博物館・高城公民館  
問合せ 倉吉博物館(TEL 22-4409)



### うちわ&らくらく型抜きアート教室

日時 8月27日(木)13:30~16:30  
場所 高城公民館  
内容 ①手すき和紙のうちわ作り、②らくらく型抜きアートの、いずれかをお選び下さい。(高城公民館にカタログがあります。)  
定員 ①先着3名 ②先着6名  
持ち物 ハサミ  
参加費 ①1,080円 ②583円  
申込 8月11日(火)までに高城公民館へ  
主催 高城公民館  
共催 生活文化部



### 川柳教室

川柳とは五・七・五の十七音の詩です。現在参加者13名(男性7名・女性6名)、初心者大歓迎、定員なし、参加費無料です。  
《日時》8月3日(月)13:30~  
《場所》高城公民館  
《内容》川柳&雑談(お題は「汗」・「ドキドキ」です。何句か考えて来て下さい。)  
《申込》当日までに高城公民館へ  
《持ち物》筆記用具(6Bぐらいの濃い鉛筆)  
《講師》打吹川柳会 会長 牧野芳光さん  
《主催》高城公民館

### 人権講演会

日時 8月8日(土)10:00~11:30  
場所 高城公民館  
内容 『インターネット時代の子ども達 ~ケータイ(スマホ)・ゲーム機のトラブルから子どもを守る~』  
定員 なし  
持ち物 筆記用具  
参加費 無料  
申込 8月5日(水)までに高城公民館へ(当日参加可)  
講師 大羽省吾さん



### 鳥取看護大学の学生さんが公民館に実習に来られます!

今年4月に山陰初の看護大学となる『鳥取看護大学』が誕生しました。つきまして、学生さんが、各地区公民館等に実習に来られます。この実習は、高城地区で生活する皆さんの生活の場に身を置き、皆さんが参加される行事に共に参加し、皆さんの生活やその社会に向き合い、生活、行動、考え方、健康に対する意識を理解する実習です。学生さんが事業や講座終了後、インタビューとして参加者の方にいろいろとお聞きしますが、お話いただける範囲内でご協力下さいますよう、お願いいたします。実習は3回で、高城地区は、  
①8月25日(火)13:30~ なごもう会 in 高城公民館  
②8月27日(木)10:00~ はつらつ教室 in さわやか人権文化センター  
③8月27日(木)13:30~ 手芸 in 高城公民館  
です。今回高城に実習に来られるのは、1年生6名(男性1名・女性5名)と担当教員の皆さんです。学生さんには、講座や地域行事へ参加していただいたり、祭り等にボランティアとして関わっていただく等して、地区住民とふれあっていたきたいと考えておりますので、ご理解ご協力の程、よろしくお祈いいたします。  
高城公民館管理委員会



# 7月報告

彩りも鮮やか！**高齢者向け嚥下食教室**（7月2日）

大窪逸子さんを講師にお迎えし、高齢者向け嚥下食教室を開催しました。実際にご高齢のご家族がいらっしゃるかたの参加もあり、「参考になった」という言葉を頂き、嬉しく感じました。

**来年もやりますよ！ドッジボール交流会**（7月5日）

高城小学校体育館にて初のドッジボール交流会が開催されました。当日は、申し込みの20名をはるかに上回る、57名もの参加がありました。心配された怪我もなく、子ども対子どもや大人対子ども等、対戦相手を変えたり「大人は両手投げ」等の特別ルールを採用し、年の差関係なく楽しめた催しでした。

**安心安全は自主防災から！夏季火災出動訓練**（7月18日）

大立地内にて夏季火災出動訓練が開催され、上大立・大立・横手・立見の分団の皆さんが訓練を実施されました。

**台風を足止めにした！高城まつり**（7月26日）

第19回高城まつりが、水辺の楽校・高城小学校校庭にて開催されました。例年雨にたたられることが多い高城まつり。今年は、雨どころか台風の接近が心配されましたが、高城地区住民の熱き思いとパワーが台風をも足止めにし、予定通りの日程で無事終了することができました。これも、高城地区の皆様の賛同と各事業所等のご支援とご協力のおかげであると思えます。

特に、まつり関係者の皆さんには、暑い時期の事前の準備から、当日早朝の準備、夜遅くの後片付けまで、本当にお世話になりました。また、祭りを盛り上げて下さったステージ出演者の皆さん、屋台出店の皆さん、もちろん、まつりに来て下さった地区内外の皆さん等、本当に多くのお方の支えにより、高城まつりが創りあげられているのだという思いを強く感じるとともに、感謝の気持ちでいっぱいです。来年はいよいよ20回目という節目を迎える『高城まつり』です。皆様方のご支援とご協力をいただき、これまでにないような『高城まつり』を創出したいと思っておりますので、これまで以上のお力添えをよろしく願います。

※忘れ物は高城公民館でお預かりしています。一定期間お預かりした後処分いたします。

※忘れ物は高城公民館でお預かりしています。一定期間お預かりした後処分いたします。

※忘れ物は高城公民館でお預かりしています。一定期間お預かりした後処分いたします。

※忘れ物は高城公民館でお預かりしています。一定期間お預かりした後処分いたします。

※忘れ物は高城公民館でお預かりしています。一定期間お預かりした後処分いたします。

※忘れ物は高城公民館でお預かりしています。一定期間お預かりした後処分いたします。

※忘れ物は高城公民館でお預かりしています。一定期間お預かりした後処分いたします。

※忘れ物は高城公民館でお預かりしています。一定期間お預かりした後処分いたします。



## 乳幼児クラブ

8月は、夏休み期間中のためお休みです。

今回は9月18日（金）の予定です。

## 高城まつり寄付金のお礼

このたび高城まつり開催にあたり、高城公民館事務所内におきまして寄付金を募りましたところ、多数のご賛同をいただき、32,000円集まりました。お礼申し上げます。ありがとうございました。

- \* 福田義克 様
- \* 小谷政美 様
- \* 坂本秀隆 様
- \* 岸田章敬 様
- \* 渡邊孝道 様
- \* 杉本賢一 様
- \* 藤井英樹 様
- \* 山部秀樹 様
- \* 門脇賢太郎 様
- \* 山増博通 様
- \* 三谷勸 様
- \* 山岡重隆 様
- \* 他、匿名希望様数名

※順不同です。

高城まつり実行委員会



## 高城グラウンドゴルフ

### 夏季大会

7月25日 今在家グラウンド

- 1位：山増幸雄（今在家）
  - 2位：平岩健之助（上福田）
  - 3位：杉本早苗（上福田）
  - 4位：米田佳子（下米積）
  - 5位：杉本紀男（上福田）
- 最少打数：垣原典彦（服部）

## 高城介護予防教室

介護予防のための集まりです。ご近所同士で話し合ったり、学び、笑い、楽しいひとときを過ごしましょう。

**日時** 8月19日（水）10:00～11:30

※当初は5日としておりましたが、変更になりましたので、お間違えのないようお願いいたします。

**場所** 高城公民館

**内容** \* 若返り体操

\* 鳥取看護大学の先生をお迎えし、血圧測定、体重測定、骨密度測定、健康についてのお話があります。

**対象** どなたでもお越し下さい **参加費** 無料 **持ち物** 水分補給のための飲み物

**問合せ** うつぶき地域包括支援センター（☎26-6378）

## 高城保育園 わんぱくクラブ 8月予定

\* 6日（木）水遊び \* 13日（木）盆休み

\* 20日（木）水遊び \* 27日（木）水遊び

開放日…毎週木曜日（ただし祝日になる日は休み）

時間…午前9時30分～11時

準備物…必要に応じ、着替え・タオル・帽子・お茶等の準備をお願いします。

毎回、絵本の貸し出しを行っています。

保育士による育児相談を行っています。お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ…高城保育園（☎28-2202）

## サークル活動予定

書道教室☆毎月1回 高城公民館

すぎなの会☆毎週水曜日 ふれあいセンター

はなれ舞☆毎週火・木曜日 ふれあいセンター

ちぎり絵☆毎月第1月曜日・毎週金曜日 ふれあいセンター

※第1回が金曜になる日、祝日、1月、8月はお休み

ひまわり会☆毎月2回 ふれあいセンター

【第三十三回】七月三日（金）午後一時三十分  
川柳教室  
題「鳥」

梅雨入りし人の気持ちもしめりがち  
雨の夜は雨のブルースきいてのむ  
雨風に揺られてたえる人の道  
雨やどりキッサに寄って高くつき  
ずっしりと父の雨傘頼もしい  
夫婦には雨のち晴れがちようどよい  
傘の二人へ雨はやまずにいてあげる  
鳥一羽鳴いてとびさる月の夜  
飛ぶ鳥をおとすいきおい夢のゆめ  
電柱に並ぶ小鳥の鳴き笑い  
ホーホケキヨ上手になって夏となり  
世の中に飛べない鳥の多いこと  
子育ては娘も鳥も大乱場  
雑木林も鳥のひと粒からでした

くマ ト く マ  
に 系 サ シ 糸 江 文 正 ぬ  
こ 江 シ 裏 コ 敷 ぬ

## 高城なごもう会

◆日時：①8月11日（火） ②8月25日（火） 13:30～15:00

◆会場：高城公民館

## 新米館長の独り言（一世紀半の時代を経て）

「教育は国家百年の大計」と言われる。高城小学校百年記念誌を紐解けば、明治六年に大立学校・上米積学校が創設され、三年後の一八七七年四月二十日に公立志村谷小学校が創設されたことある。これは大立小学校と上米積小学校を統合した学校で、今の高城小学校が誕生したときの名前である。つまり、来年百四十周年を迎える母校は、約一世紀半近くの時を経て、二度目の統合問題に直面していることになる。先人たちは、学校教育の重要性と経費の軽減を考え、より良い学校にするために統合に踏み切ったと記してある。

この問題は、地域と密接な関連がある。しかし、異論はあると思うが学校再編について論じるときは、子どもを議論の中心に据えなければ話が進展しないと思う。子どもには学区を選ぶ権利はない。つまり、どのような教育環境を整えてやるのが、子どもたちにとってより良い事なのかを考えてやらなければならないということである。そのためにはまず、めざす「高城の子ども像」を念頭に置き、学力は勿論、将来にわたって人生を切り拓く力（人間力）を身に付けさせるには、統合する方が良いのか否かを議論の中心にしなければならぬと考える。

また、適正規模・人数が云々と議論の的になるが、基準なんてあってないようなもので、四十人近い学級であっても個々の良さを伸ばす教師もいるが、十人であってもその反対の教師もいる。しかし、子どもには教師を選ぶ権利がない。だからこそ、教師の力量を高めなければならないことは言うまでもなく、これまで以上に教育委員会の指導力が求められるのはもちろん、保護者や地区住民の学校教育に関する見識が問われるのである。

教育は対処療法だけではなく、長期的視点に立った方策を講じることが重要だと言われる。次世代の教育のあり方を考え、確かな洞察の下で、計画的な教育施策を進める必要がある。やもすれば学校や教育委員会に任せっぱなしでいた教育問題を、自分も含め地域全体の問題だという捉え方をして行かなければならない時期に来ている。一世紀半の時代を経て訪れた統合問題は、大変難しい問題であるが、だからこそ議論を大いに盛り上げたいものである。それが、今を生きる我々大人の責務であると同時に「高城」が抱えている過疎や少子高齢化等の問題を改善するヒントにもなると考える。「大変なとき」は「大きく変わる」チャンスでもあるのです。

※高城公民館ブログに同意の文章を掲載中です。ブログも見て下さい。（文責：隅坂義之）